



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ



島の夏ベストセレクト



VOL.194

もくじ

P1 先山登山 P2 淡路手延素麺 P3 あわぢびーる、御井の清水 P4 大阪湾海上交通センター P5 陸の港 西淡
P6 淡路文化会館・兵庫県淡路県民局・淡路くにうみ協会からのお知らせ P7.8 淡路の文化活動・イベント情報

淡路富士への登山

夏は登山に挑戦！

今ブームになっている山登り。まずは身近な山、その姿から淡路富士といわれている先山(標高448m)へ登ってみませんか。この先山という名は、国生み神話では日本で最初にできた山と伝えられています。

市内中心部から歩いて行ってもよいのですが、車で行くと下内膳郵便局から先山方面へ右折し、釈迦堂跡を過ぎると登山口に「一丁」から始まる石標が立っています。山頂の千光寺が「十八丁」ですので、今このあたりを登っているのかの目安になります。車は神戸淡路鳴門自動車道の跨道橋を過ぎたところが広がっていますので、ここに10台くらいの車が止められます。車を停めて歩き始めるとすぐに「三丁」の石標、ここから「八丁」近くまでコンクリート舗装と整備された階段が続きます。トレイルコースに入ってもボランティア



登山口には「一丁」の石標

によって手入れがされていて、とても歩きやすい登山道です。登山口から山頂までのほとんどが木立の中なので日差しもさざざられ、野鳥の鳴き声を聞きながら進むと「十七丁」で千光寺の大きな石塔に着きます。ここからは山頂まで石段が三ヶ所、約200段を登ります。山門をくぐると山頂の千光寺本堂に到着します。車を停めてから健脚な人で約30分、ゆっくり登っても約60分で山頂まで登れます。

野鳥の声を聞きながら、山頂を目指します。



「七丁」付近は石の階段をひたすら登ります。



トレイルコース



本堂前で 狛猪がお出迎え

山頂の千光寺は、淡路西国や淡路島十三仏などの第一霊場として広くその名が知られており、梵鐘は国の重要文化財に指定されています。また狛犬じゃなく狛猪も珍しい



ゆっくり登って 山頂まで約60分

山は涼しいよ~



約二百段の石段を登ります。

山頂千光寺の「十八丁」の石標

景色最高



ですね。舞台から見ると、洲本市の西部や南あわじ市、鳴門海峡、四国の山々などの雄大な景色を楽しむことができます。舞台にはベンチもあるので、この景色を見ながら一休みもよいですね。

軽装で登ることのできる先山ですが、急激な天候の変化などに備えた衣服の準備、水分補給用飲み物や軽食なども忘れずに持って行って下さいね。まずは先山から「めざせ、山ボーイ&山ガール」 (応援隊: 田処 吉久)



大正2年創業

夏はやつぱり
福良のそうめんだあ～

こだわりの手延べ麺

平野製麺所

南あわじ市福良乙650-2 Tel. 0799-52-1618

夏の楽しみ そうめん



昔ながらのそうめん



力強いコシなめらかな舌触り



手延べそうめん



わが家の夏のお昼ごはん、おそうめん。暑い日に冷たくツルツルっ。淡路で作られている御陵系が わが家の親戚一同のお気に入りです。淡路の御素麺処といえば福良です。



平野製麺所代表 平野 拓治さん

福良の平野製麺所に行ってきました。平野製麺所は大正2年創業、四代目の平野拓治さんに話をうかがいました。淡路の手延べ素麺と言えば、淡路手延素麺協同組合ブランドの黒帯の細い素麺「御陵の糸」と「御陵の糸」より太い「淡路系」が有名です。明治時代は120軒ほどあった製麺所も今は14軒になっているそうです。全国シェアは0.5%以下。組合員の平均年齢は70歳くらいで平野さんのような40代の若手後継者は少なくなっているそうです。

「手延べ」とよく言われていますが、本当に手仕事で麺を延ばしているメーカーは全国的に非常に少なくなっているそうです。製造には13の工程があるそうです。手延べ麺特定JASでは「小引き」「門干し」「付けハタを使用した乾燥」のどれか一つでも行われると「手延べ麺」といえるそうですが、平野製麺所ではこの3つの工程すべてを「手作業」で昔ながらの製法で作っているのです。



小引き作業

昔ながらの手作業を多く残した手延べ製法



門干し作業

これも
ヒット商品!
ふし麺



守って
時短!

みそ汁にいれても おいしいで～

さて、わたしは昔から素麺を湯がく時は、差し水をしていましたが、それは釜戸で調理していた時代のやり方だったのです。今は吹きこぼれない程度に火力の調整を行ってください。そして湯がく時間は約90秒。私は何年間違った湯がき方をしていたのでしょうか！

平野製麺所ではオリジナル商品も色々開発されています。国産の小麦粉100%に鳴門海峡の海水を煮詰めてつくった塩、国産の米ぬかを昔ながらの压榨(あっさく)製法で絞った米油など。原料にも製法にも平野さんのこだわりが感じられました。

めかぶ、黒色穀物、古代米、黒ゴマ 数ある麺の中で私が一番 うれしい!と思ったのは、手延べパスタの「淡路島パスタ」です。パスタなのにゆで時間が約90秒と短いし、麺に塩が入っているの塩茹で不要。ささっとおいしいもちもちパスタが出来上がります。今年の夏の定番メニューが増えそうですね。

(応援隊:坂本 厚子、田処 吉久、川原 雅代)



応援隊取材メモ
そうめんを
おいしくゆでるコツは・・・

差し水なし!

淡路島ばすた

ゆで時間 90秒

平成10年4月、明石海峡大橋の開通と共に生まれたあわぢびーるに平成28年8月から新しい仲間が加わりました。

フレーバーテイストピア「島レモン」。淡路島の平岡農園で育てられた、香りの強いアレンユールカレモンを使用しています。職人が厳選した麦芽100%使用、淡路島の豊かな自然の中で育てています。加熱処理しないので生きた酵母の味わいが楽しめます。

麦汁造りに始まりラベル貼りに至るまで職人のプルワリーとしてのこだわりと愛情が詰まった「島レモン」税込み540円を淡路ハイウェイオアシスにて購入、飲んでみました。

口に含むと芳醇な味わいのなかに、スッキリ澄んだ檸檬の香りが爽やかなハーモニーを紡ぎ出して、とても美味しく頂きました。淡路島の夏、飲んで見つけてみませんか！？

(応援隊: 竹代 結)

既存商品のピルスナー、レッドエール、ヴァイツェン、アルト、淡路米仕込ピルスナーもボトルデザインとラベルをリニューアル。



購入先 淡路ハイウェイオアシス
TEL/0799-72-0220
営業時間: 9:00~20:00
(店舗、曜日、季節によって異なる場合があります)



島の爽やかビールで夏を楽しむ

あわぢびーる 島レモン

夏のお茶を名水で味わう

おいのしみず 御井の清水

淡路市佐野小井



古事記の仁徳紀の中に「朝夕に淡路島の寒泉(しみず)を酌んで大御水(おおもい)として献上した」との記述が残る伝承の地です。天皇の御料水として運ばれたことが分かる内容で、大阪湾を渡って名水を運ぶ海人(あまの)姿を想像させるとともに、王権との関わりが深さをうかがわれます。

御井の清水は、大阪湾に面し、淡路市にある妙見山の谷あいから湧き出る水です。国道28号佐野小井バス停から落ち葉を踏みしめゆっくり登って行くと突然目の前に海が、そして、その向こうに関西空港の建物等が…、大変景色が良く、前をさえぎるものはありません。しかし、ここで立ち止まらず、さらに15分くらい歩くと苔むした石碑に「史跡御井の清水」の文字が。そこは、ウグイスのさえずりと葉が擦れ合う竹のざわめきだけの静かな世界。竹林の中にひっそりと取水小屋。屋根は竹で葺かれています。壁は竹を割り交互につなぎ留め、周囲を囲われています。岩の間からにじみ出た清水はいったん小屋の中に貯められ、そこからパイプで引かれているのでペットボトルで汲み取ることもできます。また、柄杓も用意されているので、それを使って汲むこともできます。水を取った後は、入口の網は必ず閉めておきましょう。

「津名町誌」によると5世紀初めの仁徳天皇の時代、天皇が浪速高津の宮に居られるとき「枯野(からの)」と名付けられた船で「淡路島の寒泉(しみず)」を汲みに来たといわれています。その寒泉が御井の清水だとされ、以来、茶人が愛用したと伝えられています。水量は多くありませんが、夏の渇水期でもここだけは涸れることがないといわれています。

ためしにその清水でコーヒーを淹れ、飲んでみると本当にすっきりとした口当たりで、美味しく頂きました。

取水小屋まで足を延ばすのが面倒という人には、国道沿いの名水喫茶「サンスイ」の水汲み場がお勧めです。

(応援隊: 岡 まさよ、米田 静子)



竹林の中に佇む取水小屋



日本古来の名水



24時間体制で明石海峡の安全を守る 大阪湾海上交通センター

淡路市野島江崎914-2 TEL 0799-82-3050

夏休みはみんなで 大阪湾海上交通センターに行こう

第五管区海上保安本部大阪湾海上交通センターは西浦県道江崎バス停から山道を約3km登った小高い丘の上に建っています。センターの屋上からは、世界一の吊り橋「明石海峡大橋」が右真下に見えます。その橋の下は、1日800隻もの船舶が行き交う日本一通航量の多い海域です。

大型の船舶やフェリーなどが多く通航する狭い海域には、法律による「航路」が設けられています。海上交通センターでは、船舶が安全に航路を通航するために“航路の管制”と“情報提供”を行っています。センタータワー最上部のレーダーで運航する船舶をキャッチし、レーダー画面やテレビカメラで24時間監視して航路管制を行うとともに無線電話で船舶が安全に航行できるように様々な情報を提供しています。

明石海峡周辺は、潮の流れがとても速くて漁も盛んに行われています。特にイカナゴ漁、のり養殖が代表的です。また、春先から梅雨期にかけて濃霧が発生しやすく視界が500m以下になることがあります。



1日800隻もの船舶が行き交う
日本一通航量の多い海域



明石海峡を航行する船舶の安全を守るため
レーダー画面やテレビカメラで監視しています。

明石海峡を行き交う大小様々な船舶を目にすると自然と気持ちも落ちついて、幸福を感じます。船舶の安全な航行には、多くの人たちが24時間体制でいろいろな情報を提供くださっています。そのことに感謝の気持ちでいっぱいです。

五十嵐センター所長がおっしゃった言葉、「この仕事は海上の交通整理、事故を起こさない、ノーエラーの仕事、ホームランがなかなか出ない仕事。」

1分1秒気が抜けない大事な仕事を 5月14日からトライやる・ウィークで参加されている北淡中学校の皆さんが職業体験していました。様々な体験活動を通して海上での交通整理の大切さを学び、命の大切さを感じてほしいと願っています。
(応援隊: 廣岡 ひろ子)



*大阪湾海上交通センターは個人ではなく団体で申し込みますと見学ができます。明石海峡が一望できる屋上見学もできます。

(ただし、平日のみ)

*県道からセンターまでの道は細く、カーブが多いので気をつけてください。



「りくみな」が、さらに便利になりました。



陸の港 西淡 リニューアルオープン



夏のお出かけは「りくみな」から!

「りくみな」は「陸の港 西淡」の愛称です。

高速淡路志知から「フットバス」で高松や大阪へ!

USJにも行けますよー

そして新たにレンタサイクルが今年4月1日から開始されました。サイクルステーションには、レンタル自転車10台が準備され、バスで南あわじ市を訪れた観光客が気軽に自転車で観光できます。クロスバイクは1日500円。電動クロスバイクもあります。(利用料金は異なります)レンタル料には、ヘルメット、チェーンキー、保険料、が含まれています。陸の港西淡は、昨年10月にスタートした大鳴門橋を渡る自転車のトラック輸送拠点となっています。更衣室や工具類もあり、広いスペースはサイクリストの休憩所です。観光客だけでなく、淡路に仕事で来た人がレンタカー代わりに利用したり、スポーツバイクを借りてトレーニングジム代わりに利用するという新しい方法も始まっているそうです。ますます利用者が増えることを願っています。

陸の港西淡は、明石海峡大橋開通後、市内と神戸・大阪方面を結ぶパークアンドライド型の駐車場として平成12年5月に竣工し、これまで公共交通の主要施設としての役割を担ってきました。ここから、三ノ宮まで約1時間20分ほどで行ける高速バスの利用者も多く、早朝から深夜まで、利用者は絶えません。今回のリニューアルはさらに便利にと、売店や飲食スペースが設けられました。また、隣接するバス停「高速淡路志知」からは高松市と大阪を結ぶ「フットバス」(足のイラストのラッピングバス)、に乗車できます。



サイクルステーション完成☆



サイクルラック、更衣室、工具類 休憩室まであってサイクリスト大満足♪



電動クロスバイク レンタル料金 4時間未満 1000円



ゆったりしたスペースで旅のプランニング



訪れた日は、平日でしたが、飲食スペースで旅行に出発する人たちの打ち合わせが始まっていたり、お土産コーナーで物品を手にする姿も。バスを待つ間に、挽き立てコーヒーはいかがですか?産地で人気のお土産品もどうぞ。蓋付きコーヒーを買ってバスに乗り、ゆっくりバスの旅を楽しんでください。リニューアルオープンした「陸の港西淡」(りくみな)が、南あわじの新しいレジャーを発信してくれそうです。(応援隊:村上 紀代美、坂本 厚子)



旅のアドバイスはおまかせください!

お土産コーナーもできました!



所在地: 南あわじ市志知 443-1
Tel : 0799-36-4422
営業時間: 7時~19時 年中無休
レンタルサイクルや特産品等販売コーナー
営業時間: 8時~18時 年中無休 (変更になる可能性があります)
料金等は平成30年5月現在です。詳しくは電話でお問い合わせください。



淡路文化会館からのお知らせ

平成30年度 淡路生活創造活動グループ交流会

生活創造情報プラザを拠点に活動しているみなさんの交流会です。是非一度、ご来場ください。

日時：平成30年7月14日(土) 12:50~16:30

場所：淡路文化会館 講堂

入場：無料

問合せ：淡路文化会館

生活創造活動グループ交流会担当：久保

TEL 0799-85-1391/FAX 0799-85-0400

兵庫県淡路県民局からのお知らせ

フリマアプリのトラブル

最近、スマートフォンのアプリで、個人間で商品を売買する「フリマアプリ」のトラブルに関する相談が増えています。

事例

フリマアプリで気に入った商品があったので購入手続きをしたが、商品が届かず、連絡もつかない。フリマアプリ運営会社には申し出たが現在調査中とのこと、騙されたのか。

トラブル防止策

フリマアプリは、一般的に出品者と購入希望者がやり取りをする仕組みになっています。オークションのように価格を上げていく取引ではありません。決済はアプリの運営業者が仲介する 경우가多く、代金未払いや商品の未発送は起きにくい仕組みになっています。

ただ、個人間で売買契約が成立するため、トラブルが起きた場合は当事者間での解決が必要となります。アプリ上で、取引相手の実績やプロフィールを確認し、出品者に質問が出来る仕組み等を活用するようにしましょう。いきなり高額な取引をするのは危険です。利用する際はマナーを守り、リスクも確認した上で利用するようにしましょう。

お困りの時は188(いやや)にご相談下さい。

※消費者ホットライン 局番なし 188番(いやや!)

市や県が設置するお近くの消費相談窓口につながります。

(一財)淡路島くにうみ協会からのお知らせ

【俳句入門講座】

俳句初心者の方を対象に、俳句の基礎知識や俳句の歴史、作り方等を3回に分けて学ぶことができる講座を開催します。

- 日時 第1回 7月14日(土)
- 第2回 7月21日(土)
- 第3回 7月28日(土)

■場所 淡路文化史料館

■時間 午後2時~4時

■講師

高田菲路氏、正井良徳氏、中谷のぶ氏
三根香南氏、稲山忠利氏、木下圭子氏

■募集対象

島内在住・在勤・在学の高校生以上の方

■定員 40名

■受講料 500円(全3回分)

※事前申込が必要です。

■問い合わせ先 (一財)淡路島くにうみ協会

TEL 0799-24-2001

FAX 0799-25-2521

淡路島のまち・地域づくり活動を応援する

『プラットフォーム淡路島』からのお知らせ

「キックオフ交流会」

協力者がほしい!参加者を増やしたい!面白い事業やイベントを計画中!連携する団体を探している!事業が似ているので応援し合いたい!別事業を入れて、更に大きなものにしたい!etc、地域・まちづくり団体のそんな思いや悩みを他団体の方々にアピール(PR・ミプレソテツヨ)する場である「キックオフ交流会」に参加して見ませんか?

ご興味のある方は、7月13日(金)までにメールまたはFAXで、団体名、出席者名、住所、連絡先をご記入のうえ、下記までお申し込みください。

(勿論、飛び入り大歓迎!)

日時：平成30年7月20日(金)18:00~20:00

会場：洲本市文化体育館1A-1,-2(洲本市塩屋1-1-17)

参加費：無料(スナック・お茶を用意しています)

主催：プラットフォーム淡路島

【お申し込み・問い合わせ先】

事務局：淡路県民局県民交流室県民・商工労政課内

TEL/0799-26-2046 FAX/0799-24-6934

メール/awajikem@pref.hyogo.lg.jp

淡路県民局県民交流室

県民・商工労政課(消費者センター)

☎0799-26-3360 ㊟0799-24-6934



身近な課題を共有し、連携し、解決を図る場・機会を提供します。



◆淡路市立アソンプレホール

所〒656-2401 淡路市岩屋2942-17
 ☎0799-72-5321 ㊟0799-72-5322
 休月曜日

**アソンプレカラオケ大会
 一出演者募集**

㊟9月30日㊟ 時13:00～
 募集人数：35組(デュエット・トリオ可)
 申込受付：7月28日㊟～8月26日㊟
 ★先着順・定員になり次第締め切ります。参加費：3,000円
 申込問い合わせは、アソンプレホールまで

健康体操

㊟7月7日㊟、14日㊟、21日㊟、28日㊟ 時10:00～11:00 ㊟アソンプレホール・岩屋体育センター
 ㊟1回500円(各回に持参ください) 回数券5枚つづり2,300円

◆南あわじ市滝川記念美術館 玉青館

所〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1
 ☎0799-36-2314 ㊟0799-36-5408
 ㊟大人300円、高大生200円、小中生100円※小中生は「ココロンカード」又は「のびのびパスポート」の利用で入館無料 休月曜休館(7月16日㊟㊟は開館翌日休館)

**マイケル・ホフマン×仁科恵椒 二人展
 「邂逅—Sonorous Voices—」**

国や文化の違いを超えた二人が奏でる筆墨の響きをお楽しみください。

㊟7月7日㊟～9月24日㊟㊟
 時9:00～17:00(入館は16:30まで)

オープニングイベント

㊟7月7日㊟ 時10:00～
 出演：マイケル・ホフマン先生(画家)
 仁科恵椒先生(書家)

ギャラリートーク

㊟7月8日㊟ 時13:30～
 出演：マイケル・ホフマン先生(画家)
 仁科恵椒先生(書家)

◆淡路人形座 7月公演

所656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先
 ☎0799-52-0260 ㊟0799-52-3072

**引き裂かれる親子の情愛
 「阿波十」**

定時公演

㊟詳しい日程はお問い合わせください。
 時10:00、11:10、13:30、15:00
 休毎週水曜日

①「人形解説」
 「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」

㊟大人1,500円 中高生1,300円
 小学生1,000円 幼児300円

②「人形解説」・「戎舞」

㊟大人1,000円 中高生800円
 小学生600円 幼児200円

③「人形解説」・「バックステージ」

㊟大人500円 中高生400円
 小学生300円 幼児100円

臨時公演

30名様以上・15日前までに予約必要 時9:00、16:00

**第35回 淡路人形浄瑠璃
 後継者団体発表会**

㊟7月22日(日) 時10:00(開場9:30)
 ㊟入場無料

淡路人形浄瑠璃を継承する小学生、中学生、高校生、社会人による発表会です。徳島の高校生も出演します。各団体が一堂に集うのはこの機会だけです。是非ご覧ください。

特別出演 淡路人形座

「本朝廿四孝奥庭狐火の段」

(ほんちょうにじゅうしこうおくにわきつねびの段)



◆淡路島国営明石海峡公園

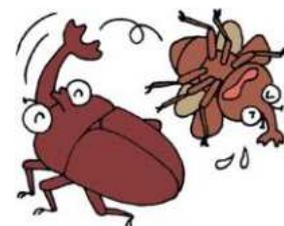
所〒656-2306 淡路市夢舞台8-10
 ☎0799-72-2000 ㊟0799-72-2100

淡路市夏まつり

㊟7月22日㊟ 場芝生広場ほか
 ㊟入園無料
 ㊟淡路市役所商工観光課
 ☎0799-64-0001

わくわく昆虫フェスタ

㊟7月7日㊟～9月2日㊟
 時10:00～17:00
 場ビジター棟ほか ㊟イベントにより異なる(別途入園料、駐車料金必要)



◆淡路市立サンシャインホール

所〒656-2305 淡路市浦148-1
 ☎0799-74-0250 ㊟0799-74-0256
 時10:00～18:30
 休木曜日/祝日(木曜日が祝日の場合は翌日)

子供ミュージックベル教室

㊟7月2日㊟ 30日㊟
 時16:30～17:30 ㊟練習室
 ㊟500円/1回 ㊟幼稚園児及び小学生 ※初心者でも大歓迎、あの素敵な音色を自身の手で。

ふだんぎロビーコンサート

㊟7月8日㊟ 時14:00～14:40
 ㊟1階ロビー ㊟無料
 ご来場のたび、どんどん貯まる! ふだんぎスタンプカード♪スタンプを5つ集めると、ホールコンサートに無料ご招待! ふだんぎをもっと気軽に楽しめる特典いっぱいカードです♪

インフォメーション



◆淡路文化会館

所 〒656-1521 淡路市多賀600
 ☎0799-85-1391 F0799-85-0400
 時 9:00～17:00 観覧無料

藤手芸を楽しむ会 作る喜び・輝キラタン

バッグ、小物、ティッシュケースなど身近な作品を展示しています。

日 7月17日⑩～31日⑩
 会 県民ギャラリー

西陣織誕生550年記念 西陣美術織若冲全国巡回展

西陣織の精緻な技術をご堪能ください。

日 7月19日⑩～23日⑩
 会 美術展示室

◆洲本市民交流センター

所 〒656-0054 洲本市宇原1788-1
 ☎0799-24-4450 F0799-24-4452

花の絵ファンタジック水彩画展

色々な種類の花を水彩絵の具でにじみの魅力を活かして描き楽しんでいます。

日 7月1日⑩～29日⑩
 時 9:00～21:00最終日は午前まで
 休 月曜休館 会 アールギャラリー
 観覧無料

◆洲本市文化体育館

所 656-0021 洲本市塩屋1-1-17
 ☎0799-25-3321 F0799-25-3325

平成30年度 第1回 淡路島くにもみ講座

「美しき水と緑を守るために
～淡路島の環境問題を考える～」
 講師 ジェフ・バーグランド氏

日 7月8日⑩
 時 14:00～15:30 (受付13:30)

会 文化ホール

観覧無料 要申込み 定員300名
 お問い合わせ・お申し込み先
 (一財)淡路島くにもみ協会
 TEL: 0799-24-2001

相愛ジュニアオーケストラ 淡路島公演

相愛ジュニアオーケストラによる
弦楽コンサート

日 7月15日⑩ 開場13:30
 開演14:30

会 文化ホール『しばえもん座』
 観覧料 ¥2,500円



◆兵庫県立淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」

所 〒656-2306 淡路市夢舞台4
 ☎0799-74-1200 F0799-74-1201
 時 10:00～18:00 (最終入館17:30)

浴衣で植物館! —浴衣で植物館を見学しよう!—

日 7月7日⑩
 時 ～20:00 (最終入館19:30)
 観覧料 浴衣着用2人1組600円(69歳以下対象)

トロピカルガーデンショー —2018— 神々が宿る島

日 7月14日⑩～9月14日⑩
 観覧料 大人600円、70歳以上(要証明)300円、高校生以下無料



編集だより

子供の頃、夏の楽しみは、海で泳ぎ、カブト虫やクワガタ虫、セミ捕りなど自然の中で遊ぶ事でした。

アリの行列を見つけたら「どこまでつながってるんやろ?」と、どこまでも歩いて見たこともありました。思い返せば、毎日外で自然が遊び場でしたね。

この夏は暑さに負けず、元気な孫たちと一緒に自然の中に出かけてみましょうか!

(応援隊: 小原 町子)

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に3,500部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約230カ所に無料配布しています。今後も生活情報新聞として、豊かな情報をお届けしたいと思います。ご愛読よろしく申し上げます。とともに、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。また、淡路文化会館のホームページにも掲載していますので、是非ご覧ください。

(発行)淡路生活創造応援隊 淡路文化会館 淡路文化会館運営協議会

〒656-1521 淡路市多賀600 ☎0799-85-1391 F0799-85-0400

E-mail: a-pocket@hyogo-ikigai.jp

HP: <https://www.awaji-bunkakaikan.jp/>

私たちはポケットあわじを応援します。

